

福知山市商工会 企業業況調査

平成29年7月調査結果(6月実績 調査対象 88件) (平成29年8月4日公表)

■景況感

		調査数	現状	先行3ヶ月	先行1年
全体		88	33.2	35.5	34.9
地域別	三和	23	32.6	37.0	39.1
	夜久野	28	28.6	30.4	26.8
	大江	36	37.5	38.9	38.9
業種別	製造業	20	48.8	51.3	48.8
	建設業	21	35.7	34.5	35.7
	卸小売業	21	21.4	25.0	22.6
	サービス業	26	28.8	32.7	33.7

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

※旧福知山市の事業所があるため、地域別と業種別の調査数は異なる。

景況感DIは33.2と標準(50.0)よりも悪い水準となっている。地域別では、夜久野町の落ち込みが目立つ。業種別では、製造業が48.8とほぼ標準並みの水準となっているのに対し、卸小売業では21.4とやや悪い水準である25.0をも下回っている。

先行調査では、先行3ヶ月が35.5、先行1年が34.9と、僅かながら現状よりも回復基調が見られるとしている。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期	前年同期比	前期比
引合	/	-2.4	-17.1
売上	/	-7.3	-19.5
採算	7.3	-19.5	-24.4
資金繰り	-19.5	/	/
業況	-24.4	/	/

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出
 (「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期	前年同期比	前期比
売上	/	-27.7	-4.3
客数	/	-38.3	2.1
客単価	/	-25.5	-8.5
採算	2.1	/	/
資金繰り	-23.4	/	/
業況	-36.2	/	/

★今期の経営動向

採算においては、製造業・建設業が7.3、卸小売業・サービス業が2.1と、黒字の事業所が多いという結果となった。

一方で、資金繰りや業況については、いずれも大幅なマイナスとなっており、厳しい状況が伺える。特に、卸小売業・サービス業でその傾向が顕著である。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、引合、売上、採算のすべての項目で、前年同期比、前期比ともに悪化している。これが、今期の資金繰りや業況の悪化に結びついていると推定される。

卸小売業・サービス業については、売上、客数、客単価のすべての項目で前年同期比-25を超えるDIとなっており、厳しい状況となっている。前期比において大きな落ち込みが見られない理由としては季節要因の影響と考えられる。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 業種後の数字は問題点としてあげられた数)

	製造業(39)		建設業(51)		卸小売業(54)		サービス業(57)	
1位	設備の不足、老朽化	12.8%	競争の激化	21.6%	競争の激化	18.5%	仕入価格の上昇	15.8%
2位	仕入・人件費以外の経費の増加	12.8%	需要の停滞	15.7%	消費者ニーズの変化への対応	16.7%	需要の停滞	14.0%
3位	従業員の確保難	12.8%	従業員の確保難	13.7%	設備の不足、老朽化	14.8%	設備の不足、老朽化	12.3%
4位	消費者ニーズの変化への対応 / 人件費の増加 / 販売価格の低下 / 需要の停滞	10.3%	設備の不足、老朽化	9.8%	需要の停滞	14.8%	従業員の確保難	12.3%
5位	仕入・人件費以外の経費の増加	9.8%	仕入・人件費以外の経費の増加	9.8%	販売価格の低下	11.1%	消費者ニーズの変化への対応 / 販売価格の低下	10.5%

■従業員の状況（従業員（家族従業員を含む）を雇用している事業者のみ回答）

○現時点の人員の過不足感

		不足 ←		→ 過剰		
地域別	全体	8	23	35	2	1
	三和	4	7	11		
	夜久野	2	10	10		
	大江	2	6	14	2	1
業種別	全体	8	23	36	2	5
	製造業	3	5	8	1	4
	建設業	2	8	7		
	卸小売業		4	9	1	1
	サービス業	3	6	12		

○パート社員の平均時給

		831～860	861～900	901～1,000	1,001～
地域別	全体	23	6	5	1
	三和	7	2	1	
	夜久野	10	3	2	1
	大江	6	1	2	
業種別	全体	23	7	5	1
	製造業	10	1	2	
	建設業	1	2	1	
	卸小売業	4	2		1
	サービス業	8	2	2	

○1年前と比較した正社員の増減数

		～-3	-2～	±0	～+2	+3～
地域別	全体		5	48	9	1
	三和		1	14	4	
	夜久野		3	14	3	
	大江		1	20	2	1
業種別	全体		5	49	9	1
	製造業		1	13	3	
	建設業		2	10	4	1
	卸小売業		1	10	1	
	サービス業		1	16	1	

○1年前と比較したパート社員の増減数

		～-3	-2～	±0	～+2	+3～
地域別	全体	1	6	46	2	
	三和	1	1	16	1	
	夜久野		3	15	1	
	大江		2	15		
業種別	全体	1	6	47	2	
	製造業		1	13	1	
	建設業	1		9		
	卸小売業		1	12		
	サービス業		4	13	1	

現時点の人員の過不足感については、過剰とする事業者よりも不足と感じている事業者の方が多い。1年前との比較では、正社員で若干増加、パート社員で若干減少の結果となっているものの、当商工会地域全体では、総じて大きな変化はないとの結果となっている。前ページの『経営上の問題点』として挙げられた「従業員の確保難」、及び下記の『労務管理及び人材育成に関して直面している課題』として上位に挙げられた「人員不足」、「採用の困難さ」等の回答結果から、会員事業者において、人員不足への対応ができていないことが推定される。

パート社員の平均時給は860円以下の事業所が2/3を占めている。10月に予定されている最低賃金の引き上げに伴い、時給の見直し及び労働契約の更新準備を進めておく必要がある。

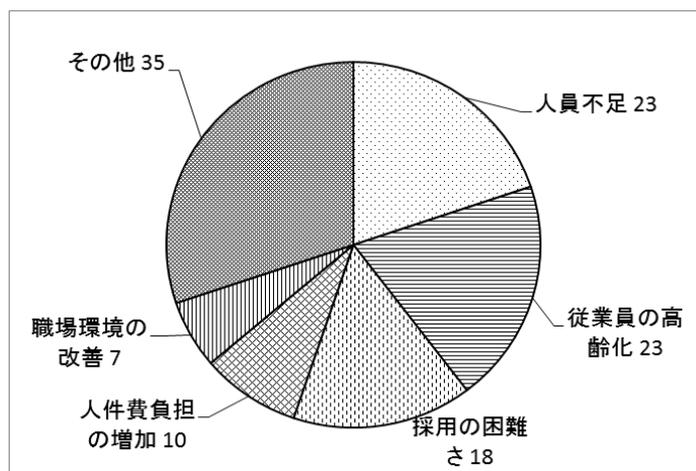
○労務管理及び人材育成に関して直面している課題

（15個の選択肢から3つ以内を選択回答 項目の後の数字は課題としてあげられた数）

労務管理及び人材育成に関して直面している課題としては、「人員不足」、「従業員の高齢化」、「採用の困難さ」が上位を占めた。

福知山市におけるパート労働者を含む有効求人倍率（求人数/求職数）は1.34（平成29年5月ハローワーク）と高い水準が続いており、今後も引き続きこの傾向が続くと想定されることから、人員不足が一層深刻化する懸念がある。

さらに、この人員不足に加えて、今秋の最低賃金の引き上げに伴う人件費負担の増加が今後の大きな課題となる可能性がある。



この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は平成29年7月～9月の状況について、10月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。